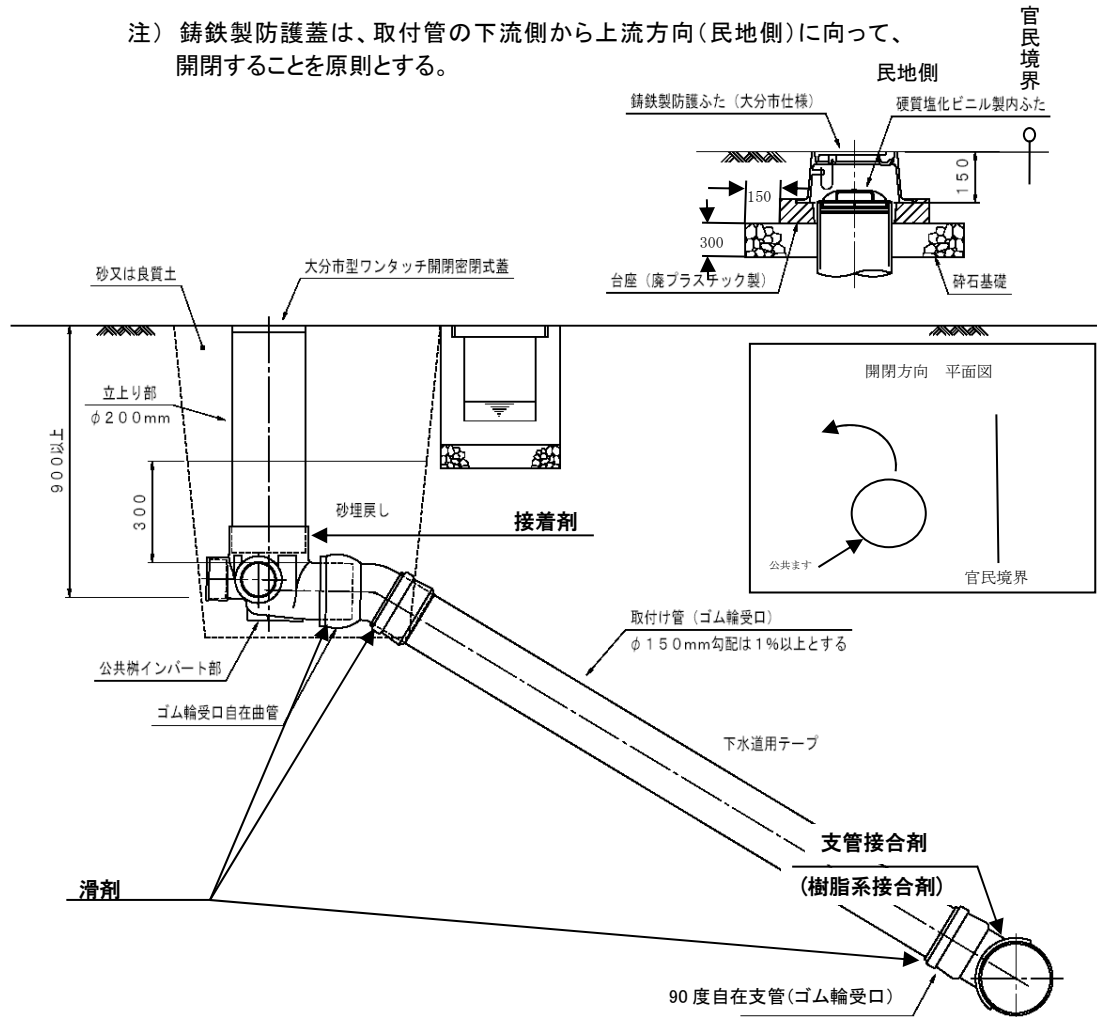


注) 鋳鉄製防護蓋は、取付管の下流側から上流方向(民地側)に向って、開閉することを原則とする。



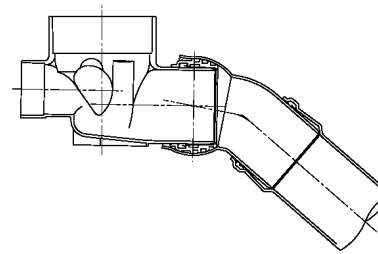
- 注 1) 公共ます 深さ H=90~200 cm 以下。
- 注 2) 取付管の延長は、10m以下を原則とする。
- 注 3) 取付管がφ200 の場合、ますはφ300 を使用すること。
- 注 4) 取付け管の屈曲部には、自在曲管を使用しないこと。
- 注 5) 本管が硬質塩化ビニル管の場合は、硬質塩化ビニル管用支管樹脂系接合剤を使用すること。本管がヒューム管及び陶管の場合は、ヒューム管用支管樹脂系接合剤を使用すること。
- 注 6) 硬質塩化ビニル製フタを、車の乗り入れ等がある場所に設置するときは、10 cm以上の保護コンクリートをおこなうこと。アスファルト舗装部には使用不可。

硬質塩化ビニル製公共ます(汚水・雨水)設置詳細図  
記載事項以外の詳細についてはJSWAS K-7を参照のこと

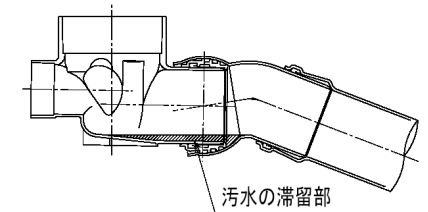
### 自在曲管の使用方法

- 注 1) 自在曲管の使用方法は、下図の悪い使い方でするように曲げ戻さないこと。
- 注 2) 取付管の平面配置は、本管に対して直角かつ直線的に布設し、取付部は、管に対して90°とする。
- 注 3) 本管において、取付管同士の間隔は、1m以上の離隔を確保する。

正しい使い方



悪い使い方



### 公共ます(汚水・雨水)の据付方法

公共ます本体の上端面を水平に据え付けること。  
上端面が水平のとき、樹底部に適切な勾配が確保される。  
また、左右に傾かないように気をつけること。

